



防災あいずみ

令和7年1月15日発行 第47号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話637-3111

あかちゃん×防災 Vol.1

監修：ピジョン株式会社

あかちゃんが生まれてから、災害への備えは見直しましたか？授乳用品やおむつなど、あかちゃんの防災に必要なものは、通常の備えとは少し異なります。改めてあかちゃんに必要な災害への備えを見直し、次のリストを参考に、できることから始めてみましょう。



あかちゃんの防災備蓄リスト

場面	品 目	備 考
授乳	☐ ミルク	普段母乳で育てている人もストレスで母乳が一時的に出なくなる可能性があるため、少量は用意しておきましょう。
	☐ 哺乳瓶・授乳用カップ	水が不足し、洗浄消毒ができなくなる場合に備えて、使い捨てで利用できるものを用意しておきましょう。
	☐ 調乳・洗浄消毒用具	カセットコンロは大人用の調理用具にもなるのでおうちに用意しておくといいでしょう。
	☐ 授乳ケープ	多くの人が集まる避難所では、授乳スペースが十分に確保できない可能性があるため用意しておきましょう。
	☐ 離乳食・おやつ	特にアレルギー対応品は災害後入手が難しくなる場合があるので、多めに用意しておきましょう。
	☐ 食器(お皿・スプーン)	使い捨ての物を用意しておきましょう。エプロンもあるといいでしょう。
トイレ・衛生管理	☐ 紙おむつ	サイズが変わったら備蓄の更新も忘れずに行いましょう。ライナータイプを活用することで枚数を減らすことができます。
	☐ おしりふき	多めに用意しておく、お手拭きや身体拭きとしても使用することができます。
	☐ タオル・ゴミ袋	組み合わせることで簡易的なおむつとしても使用できます。
	☐ 除菌シート・ウェットシート	多くの人が密集して生活する避難所では感染症が流行することが多いため、対策として用意しておきましょう。
	☐ 常備薬・応急セット	つめ切りなどのお手入れ品のほか、普段使っているお薬を入れておきましょう。
	☐ 生理用品・母乳パッド	ママが必要なグッズも数が不足する場合があるので忘れずに用意しておきましょう。
避難時・避難所生活	☐ 母子健康手帳などのコピー	普段の外出時も基本的には常に携帯しておきましょう。
	☐ 抱っこひも	いつでも使えるように家の中の手に取りやすい場所で保管するようにしましょう。
	☐ 子どもの靴	抱っこして避難したために、子どもの靴を忘れるケースが多いため、用意しておくことで安心です。
	☐ おもちゃ・絵本	あかちゃんがぐずってしまうことが避難所での一番の悩みとされています。音の出ないものを用意しておきましょう。
	☐ 家族写真	大切な写真を用意しておきましょう。実際に避難された方も写真を見て元気が出たり、家族とはぐれた時にも役立ちます。

半年に1回は見直しましょう！

ミルクの量や離乳食の種類、おむつのサイズなどはあかちゃんの成長に合わせて定期的に入れ替えて管理しましょう。最低でも半年に1回は防災備蓄の見直しと一緒に避難時の行動を家族で話し合うといいですね。

今日の日付

年 月 日



半年後の見直し日

年 月 日

あいずみ防災フェス

町民の皆さんに防災について気軽に楽しく学んでいただくため、「あいずみ防災フェス」を開催しました。約900人の皆さんに会場にいらしていただき、会場内で様々なイベントを体験してもらいました。

今後も、多くの町民の皆さんに防災について関心を持っていただけるよう様々な取組を行っていきます。



(令和6年10月20日開催)

いざという時のために

町職員の防災意識向上や初動体制の検証を目的に、地震と火災を想定した「合同庁舎地震・火災避難訓練」をブラインド方式(シナリオを事前に周知しない訓練方式)で実施しました。

今回の訓練では、訓練用の緊急地震速報音源の放送で地震発生を確認した後、参加者は、身体の安全確保(シェイクアウト訓練)、火元安全の確認や消防への通報訓練、要救助者の保護と避難誘導訓練、水消火器を使用した消火器取扱訓練を行いました。

今後も、マニュアルや初動体制を見直しながら定期的に訓練を実施し、実際に災害が発生した際には、来庁者の皆さんが安全に避難できる体制を整えていきます。



(令和6年11月19日実施)

みんなで学ぶ

公益財団法人徳島県国際交流協会(TOPIA)主催で、災害時外国人支援対応訓練を行いました。この訓練は、外国人住民が増え、また災害が頻発化・激甚化する中で、「日本人」・「外国人」の枠を超えて地域社会全体の安心につなげるために開催し、本町にお住まいの外国人の方、町職員、藍住町国際交流協会会員、地域の自主防災組織の方、県職員などが参加しました。

訓練では、災害時における避難所運営において、外国人への支援を地域全体でどのように行うかをワークショップ形式で行い、言語の壁だけではなく、宗教や文化、食習慣の違い、外国人の避難所での孤立、情報発信の方法等の多くの課題を改めて認識させられる訓練となりました。

本町では、今後も平時から外国人の方との連携強化のほか、情報の多言語化や資機材整備等、外国人だけでなく様々な立場の方が安心できるよう防災対策を行っていきます。



(令和6年12月8日開催)

小学校で防災学習

東小学校では5、6年生及びその保護者を対象に親子防災教室を開催し、西小学校では6年生を対象に防災出前講座を開催しました。

この防災教室や講座は様々な学びや体験を通じて住民の皆さん、特に小学生とその家族という、若い世代における自助意識の定着を図ることを目的に行いました。

東小学校では、防災倉庫の説明や水消火器による消火体験、地震体験、ロープワーク、心肺蘇生法体験、ドローン模擬操縦などを体験していただき、西小学校では体育館で地震体験や備蓄している資機材の組立、避難所レイアウトの作成を行っていただきました。

今後も子どもたちが家族で参加でき、防災について楽しく気軽に学べるような取組を実施していきます。



(東小：令和6年11月22日開催)



(西小：令和6年12月10日開催)

防災意識向上プロジェクト講演会

東中学校で、茨城県日立市の久慈学区コミュニティ推進会会長石川善憲さんを語り部としてお招きし、東日本大震災講演会を開催しました。この講演会は、東中学校の校区が南海トラフ巨大地震による津波浸水区域となっていることから、防災意識の向上を目的に行い、1年生及び教職員が参加しました。

石川会長は東日本大震災時に津波の被害を受け、2,000人以上が避難した中学校の校長先生であり、当時の実体験に基づき講演していただきました。参加者の皆さんにとって、災害について他人事ではなく自分事として捉える機会になったと考えています。

この講演会は、消防庁主催の「防災意識向上プロジェクト」による語り部派遣事業を活用して開催しました。

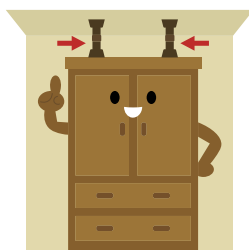


(令和6年12月6日開催)

地震への備えはできていますか？

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から、今年で30年となります。この震災による死者は6,000人以上にも及び、死因の約8割が建物の倒壊や家具・家電の下敷きになる圧死、約1割が火災による焼死であったとされています。

町では、家具・家電の転倒や地震火災から身を守るため、家具転倒防止器具や感震ブレーカーの取付支援を行っています。この機会にぜひご利用ください。



<https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024080900027/>

詳しくは、町ホームページをご確認ください。

守りたい 未来があるから 火の用心

令和5年中(1月から12月まで)の全国総出火件数は、38,672件で、前年より2,358件増加しました。これは、おおよそ1日あたり106件、14分に1件の火災が発生したことになります。特に、住宅火災が増加しており、全体の3割以上を占めています。

住宅火災の出火原因については、コンロ、たばこ、電気機器、配線器具、ストーブなどが多くを占めており、気を付ければ防ぐことができる火災が多いことがわかります。

町内における令和5年中の火災発生件数は7件でした。特に冬場は火災が増加します。火災予防チェックシートを活用して、火災ゼロを目指しましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～3つの習慣、4つの対策～

- **3つの習慣**
 - ①寝たばこは、絶対やめる
 - ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
 - ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- **4つの対策**
 - ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
 - ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
 - ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災予防チェックシート

①コンロ

- ☐ コンロの周りに燃えやすいものを置いていないか
- ☐ コンロの使用中にそばを離れる場合は必ず火を消しているか
- ☐ ガスホースは劣化していないか
- ☐ 換気扇は掃除されているか
- ☐ 近くに消火用具は設置してあるか



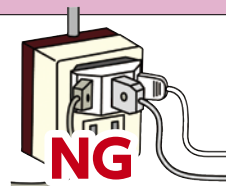
②たばこ

- ☐ 寝たばこはしていないか
- ☐ 灰皿に吸殻は溜まっていないか ※努めて水を入れましょう
- ☐ 吸殻は完全に火が消えているか ※捨てるときは水につけてから



③電気配線器具

- ☐ 使用しているコンセントにほこり等が付着していないか
- ☐ タコ足配線はしていないか
- ☐ 電気ランプ等、熱をもつ電気器具の上でタオル等を干していないか
- ☐ 壊れた又は壊れそうな電気器具を使用していないか ※コードの劣化



④ストーブ

- ☐ カーテンや家具等、燃えやすいものの近くにストーブを置いていないか
- ☐ ストーブの上に洗濯物を干していないか
- ☐ ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行っているか
- ☐ 給油する燃料は間違いないか

